

各位

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
 代表者 代表取締役社長 山田 哲
 (コード番号 6488)
 問合せ先責任者 取締役総務部長兼経理部長 島 勝彦
 (TEL 050-3508-5835)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年10月28日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,960	770	1,070	810	63.46
今回修正予想(B)	7,091	910	1,352	967	75.78
増減額(B-A)	131	140	282	157	
増減率(%)	1.9	18.2	26.4	19.4	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	6,263	456	777	589	46.15

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,930	720	540	42.30
今回修正予想(B)	6,177	931	698	54.76
増減額(B-A)	247	211	158	
増減率(%)	4.2	29.3	29.3	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	5,383	552	421	33.05

(注)当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、連結および個別の業績予想数値における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度および前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

当連結会計年度の業績(連結・個別)につきましては、国内はコロナ禍におきましてもテレビ会議による客先対応など、非対面型営業を前期に引き続き積極的に推進いたしました結果、売上は好調に推移しました。海外においても中国やその他の東アジア地域、北米地域での販売を大きく伸ばし、販売活動全体として好調に推移しました。また、連結子会社ヨシタケ・ワークス・タイランドを中心に生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底したことに加え為替レートが前回予想時よりも円安で推移したことなどにより利益面でも改善し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、今後の景気動向を注視し業績予想の見直しが必要になった場合には速やかに開示することといたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年10月28日発表)	—	—	—	21.00	21.00
今回修正予想	—	—	—	25.00	25.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	0.00	—	30.00	30.00

注) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2021年3月期の期末配当金につきましては、配当基準日が2021年3月31日となりますので、当該株式分割実施前の株式数を基準として配当を実施いたしております。

修正の理由

2022年3月期の期末配当予想につきましては、当初1株当たり21円00銭としておりましたが、通期業績予想を上方修正することに伴い、1株当たり25円00銭と修正いたします。当社は株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつと考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針であります。株主の皆様におかれましては何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

※上記に記載した業績予想および配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および配当額は今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以上